

会 議 録

1 会議名

平成29年度 第2回金谷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 平成29年度地域活動支援事業について（公開）

(2) 自主的審議事項「金谷区小学校区（特に黒田小学校区）における地域連携施設の設置」について（公開）

3 開催日時

平成29年5月16日（火） 午後6時04分から午後8時50分まで

4 開催場所

福祉交流プラザ 第1会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：高宮宏一（会長）、川住健作（副会長）、村田敏昭（副会長）、伊崎博幸、石野伸二、伊藤三重子、牛木喜九、桑山敏男、齋藤邦博、高橋敏光、竹内恵市、土屋博幸、永野起男、山口茂幸、吉村清正

・事務局：南部まちづくりセンター 佐藤センター長、槇島係長、小林主事

8 発言の内容

【小林主事】

・西条委員を除く15名の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

・同条例第8条第1項の規定により、議長は高宮会長が務めることを報告

【高宮会長】

・会議の開会を宣言

・会議録の確認：伊崎委員、吉村委員に依頼

—次第2議題等の確認—

【高宮会長】

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

資料により説明。

【高宮会長】

事務局の説明について質疑を求めるがなし。

—次第3議題(1)平成29年度地域活動支援事業について—

【高宮会長】

次第3議題(1)「平成29年度地域活動支援事業について」に入る。

本日は、提案があった事業について全体討議を行い、その結果をもとに基本審査と優先採択審査を行う。

今年度の提案状況について、事務局に説明を求める。

【小林主事】

- ・提案事業13件、補助希望額計1,326万6千円
- ・金谷区予算配分額850万円を476万6千円超過

【高宮会長】

全体討議を行う。提案があった13件の事業について、順番に検討する。

整理No.1「滝寺自然公園整備と環境保全・保護活動事業」について、意見を求める。

【石野委員】

整備箇所の位置図がないが、よいか。これを含めて3件ほどある。

【高宮会長】

今回の資料にはないが、毎年している。

【石野委員】

昨年も図面が付いていない。位置図は付けるべきではないか。共通審査に進むことが決まった時点で、図面をもらうよう提案者に要請できるか。

【佐藤センター長】

図面の添付をお願いしているのは、工事図面のみ。その他の活動については図面をお願いしていない。ただ、地域協議会で地図を出して欲しいということであれば、団体へお願いすることは可能かと思う。

【石野委員】

可能であれば、出していただければと思う。

【佐藤センター長】

それは、地域協議会に諮り決定していただきたい。

【高宮会長】

いかがか。

【永野委員】

その前に、整理No.1は毎年提案が出されている。毎年であれば、例えば今年はこれを一つ、来年はこれを、としないと。これだけ提案事業数が多いと問題が出てくるので、毎年提案がある事業についてその方向性をどうするか。

【石野委員】

ある区では、継続した取組に関しては、3年目や4年目になったら減額の対象にしている。また、翌年に新しい取組として何があるかが一つのキーになる。金谷区としてはそういう取り決めはないのだが。

【高橋委員】

内容のほとんどが整備。整備をした後、人を呼んで見学してもらうということが全くない。環境保全と保護活動だけではもの足りない。また、事業内容に「キノコ栽培と試食会の実施」とあるが、自然保護と何もつながりがない。

【伊藤委員】

昨日毘沙門堂周辺に行ってみたが、荒れていて、とてもお金をかけて整備したとは思えなかった。5月20日にお祭りがあるということなので、それに向けてする

のかもしれないが。また、看板を立てるという話も聞いていたが、それがどこにあるのかも分からないし、とても不案内だった。

【石野委員】

審査基準の「参加性」の捉え方は、整備だけではなく何か催しをすることなどだと思うが、自己評価で「一定の人員が確保できているが、作業継続と広報活動により、少しずつでも参加者増加を期待している」としているということは、今は増加していないということである。そうすると、参加性は非常に弱いと思う。チラシなども作られているが。

【伊藤委員】

案内チラシ用の屋根付きのボックスがあったが、中は空だった。

【高宮会長】

全体討議として、整理No.1の事業についていかがか。

【石野委員】

討議の進め方としては、ここで結論を出すのではなく意見を言い合うだけの場である。だから、意見が出尽くしたらそれで終わりということで。審査は後で行う。

【高宮会長】

整理No.2「金谷山周辺地域の歴史的文化遺産の維持継承を図る事業」について、意見を求める。

【山口委員】

予算は町内からの補てんもあるようだが、こういったことは、神社もそうだが、本来は寄付を募るものではないか。灰塚町内でポールを2本建てた際は、全額寄付で建てた。特に有名な人が出ている件なので、本来は（基本審査に）合致しないのではないかと思うが、皆さんはどうか。

【高橋委員】

事業内容の「会津墓地及び臥蛇池周遊道の清掃維持活動」は、神山町内会の人を中心に行われているもので、平山の町内会が行うものではないと思う。

【石野委員】

矢澤綱四郎氏の功績は、インターネットにはほとんど載っていない。全市的に盛

り上げていくようだが、地元の方の功績をたたえるのであれば、寄付行為をするなり、冊子、書籍や大きいパネルを作って小学校に置くのがよいと思う。石碑の約三分の二が文字の掘り込み代ということもある。また、矢澤氏の民地に石碑を建てるのだろうが、「直系子孫が高齢化しており急ぐ必要がある」というのは個人的な要素であり、趣旨としておかしいのではないか。

【土屋委員】

支出は建立費がほとんどであり、顕彰碑を建てるための提案だと思う。

6月中に完成とあるが、完成できるのか。また、石碑の建立一本だけの事業であれば分かるが、会津墓地の清掃維持活動などもあるので、どうなのか。

建立の前にもう少し矢澤綱四郎氏のアピールをした方がよいのではないか。

【石野委員】

この会の昨年度の会計収支を見ると、繰越金が35万6千円ある。今回の事業の自主財源に繰越金を充ててもいいような気がする。毎年これだけの収入があるのであれば、積立等を考えるのが筋なのかなと。

【永野委員】

この資料を見るといい勉強にもなり、いいことだと思うが、皆さんが言われた意見ももっともだと思う。もう少しお金がかからない方法を再検討していったらよいのではないかと。

【石野委員】

地域活動支援事業の同じような事例で、「新道区のあゆみ」という冊子が作られ、各世帯に配布された。アピールするのであれば、そういうやり方を。まずアピールをしてもっと広げて。石碑を立てても、石碑は活動してくれない。

【村田副会長】

大貫協議会というのは、大貫全体の取りまとめをする会であり、平山一町内会のものではない。神山、金谷、大貫も入っている。

【高橋委員】

認識不足だった。

【石野委員】

建立地の近くに神社があるが、矢澤稻荷神社という名称のはずである。ここは個人の神社なのか、地域の神社なのか。個人のため活動であれば、どうなのか。

【高宮会長】

整理No.3「里道（旧後谷線）の整備事業」について、意見を求める。

【永野委員】

一回で道を全部整備するのだと思うが、非常にお金のかかる事業であり、何回かに分けて提案されたらよいのではないかと。

【石野委員】

全線を整備するというよりは、急斜面のところに階段を設置する計画。

いろいろな提案があるが、どこまでをどう区切るかというのは、なかなか。金谷区の場合、上限金額がないため、非常に判断が難しいと思う。次年度以降、上限金額を設けるのかなど、検討していくべき。

【竹内委員】

図面を見ると、山道を直すというよりは、散歩道を直すようで、お金をかけた材料を使って直す計画のように見える。切った雑木でくいを作るのが、山道の本来の姿だろうと思う。立派すぎるのではないかと。もっと雑でもよい。

【土屋委員】

参考資料にバンダナとあるが、これは何か。

【石野委員】

作品製作の草木染で使うのだと思う。

【高宮会長】

No.4「金谷山太鼓継承・振興事業」について、意見を求める。

【山口委員】

支出の中に太鼓の修理とあるが、メンテナンス費は本来地域活動支援事業で補うべきものなのか。ものを作れば、必ずメンテはある。ただの物の修理というのはいかがなものか。20台も修理するのであれば、何か目玉事業があつていいのではないかとプレゼンのときに質問しようと思う。

【石野委員】

例えば、過去に地域活動支援事業でAEDやLEDを設置しているが、それが壊れたから修理までお願いするというのは違うのではないか。それぞれの会で、修理のことも考えて修繕費を積み立てるなどするべきではないか。

【村田副会長】

過去に高田西小学校で太鼓の修理を提案し、採択された経緯はあったのか。それがあったから、また提案してきたと推測する。もちろん、過去に認めたから今年度も認めなければならないということではない。分かる方がいれば教えてほしい。

【高橋委員】

過去にあったのは確かである。金谷山太鼓の演奏は、学校のほかレルヒ祭や本町でもしている。学校内だけではなく、地域活性化のイベントに協力するために、外に出て活動をしているからよいという話になった。

また、新しい金管の楽器も買ったはずである。それは飯小学校も同じく買っている。

修理代はよいが、テントがよく分からない。外部に出かけたときに、雨天の場合に楽器を一時置くためのテントだと思っているが。

【川住副会長】

こういった備品は必ず修理があるので、それなりの積み立てが必要だと思う。地域活動支援事業がいつまでもあるとは限らないので、せめて後援会で半分くらいは出すようにしたらどうかと思う。

【竹内委員】

テントはイベントの主催者から借りることができると思う。このテントを運動会で使うとすれば用途外になるが、他のイベントにも使うのではないかと感じる。

【石野委員】

テントを何に使うか、提案書に具体的なことが書かれていない。それはまずいのではないか。

【永野委員】

「鑑賞者用及び発表時の用具置き場用」と書いてある。

【石野委員】

なんで必要なのかが何もない。

【永野委員】

それが絶対必要なのかどうか分からない。

【高宮会長】

それは当日の質問事項に。

【齋藤委員】

小学校の後援会であれば、テントは自ら調達すべきものである。

【高宮会長】

提案者に質問していただければと思う。

整理No.5「金谷区全域の防犯灯のLED化による住民の安全安心事業」について、意見を求める。

【石野委員】

市の防犯灯LED化の5か年計画とは何か。

【高橋委員】

各町内の既存防犯灯を5年間でLED化してほしいと通達がきている。市の補助は交換のみで、新規は対象外。

【高宮会長】

整理No.6「正善寺ダム周辺の紫陽花の維持管理及び水質保全と環境美化事業」について、意見を求める。

【石野委員】

アジサイの維持管理は、沿線のどこからどこまでか。

【齋藤委員】

下正善寺からダムまでの沿道。ライトアップはダムの周辺と聞いている。

【石野委員】

事前協議は「必要なし」となっているが、沿線との事前協議がいるのではないか。毎年これだけの支出がかかるのか分からない。

【山口委員】

過去の提案では、ヘッジトリマーを買うなどがあった。今年度は、管理のための

諸経費だけであり、活動を継続するには必要な額だと私は判断している。プレゼンで質問されたらよいと思う。

よく管理されているため、あじさいは非常に見応えがある。

【高宮会長】

整理No.7「幼年野球活性化事業」について、意見を求める。

【川住副会長】

南スナイパーズは、黒田小学校と南本町小学校の児童の野球チームである。本来であれば、高田区からも半分くらい助成してもらいたいが、黒田小学校と南本町小学校の児童がそれぞれ何人か把握していないので、当日に聞きたい。これを読むと南本町小学校の児童の分もみんな買うようにとれる。

【石野委員】

幼年野球の活動自体は全く問題ないが、これだけのものを一度に提案するのはどうなのか。これがなかったら活動できないのか、という話になる。

【高橋委員】

飯小学校区のチームでは、加入しているブロックの会費や大会参加費の一部をこの春から青少協で負担することになった。最近の子どもたちは野球人口がとても少ない。以前は御殿山だけで1チーム、飯小学校で3チームくらいあったのだが、今は全体で1チームである。大事に子どもたちを育てていかなければいけないので、大事なお金だと思うが、内容については石野委員のとおり、どうかなと。

【土屋委員】

事業の対象が「金谷区の住民（主に子供、保護者、地域ボランティア）」であるが、黒田小学校区と書いた方がよいと思う。金谷区だと飯小学校区も入ってしまう。

【高橋委員】

これがよいとなれば、他のチームも断るわけにはいかない。

【高宮会長】

整理No.8「金谷山ホテルの里環境・教育・福祉・PR活動事業」について、意見を求める。

【竹内委員】

前回、道路が狭すぎて機械が入らず、その舗装幅を広げたために舗装延長が短くなったから、今回はその足りない分を舗装、というのはどうなのか。予定どおりしなかった場合は、変更の手続きが必要ではなかったのか。

【石野委員】

この活動は観光の部分で非常に貢献されていると思う。

舗装する土地は民地だろう。民地を舗装するときは、所有者が変わったときに元どおりに戻せとなった場合、同意書だけでは法的効力が全くないので、どうなのか。永代使うのであれば、土地を買い上げる、借地権を結ぶなどがよいのではないか。

【村田副会長】

数年前に平山キャンプ場で地域活動支援事業を提案したが、そこも私有地である。地権者に「使用目的が終了するまで」として了解を得たうえで、提案を受け付けてもらった。自分たちの土地でなければ舗装できない、あるいは電気工事ができないということではない。了解を得ている書類が提出されていると考えている。

【石野委員】

上越ホテルの会は、法人格を持っていない、任意団体だと思う。同意書では公的な効力があまりないので、目的が終了するまで正式に借り入れるなどしたらよいと思う。

【佐藤センター長】

土地を利用する事業を提案するときは、土地所有者と事前の相談を行うことになっているので、それがなされていることを前提に受け付けている。それを確認されたいのであれば、プレゼンテーションのときに、委員から確認していただきたい。

【石野委員】

地域活動支援事業で民地に構造物を建てることについて、市での制約は全くないのか。同意書だけあればよいのか。

【佐藤センター長】

そのとおりである。

【村田副会長】

大貫協議会の石碑の土地も同じ考え方だと理解している。

【高橋委員】

金谷山のボブスレーなどは、ほとんどが個人の土地である。市の建物なども建っている。

【高宮会長】

整理No.9「黒田小学校区地域いきいき活動事業」について、意見を求める。

【村田副会長】

黒田小学校区の委員に伺いたいのだが、これは黒田小学校の運動会ではなく、黒田小学校区の運動会なのか。

【川住副会長】

黒田小学校区大運動会である。子どものほかに保護者や高齢者が参加し、盛大に行う。水入れや玉入れなどいろいろな種目があり、出場した皆さんに記念品を渡している。

本来は後援会で負担すればいいのだが、他にもいろいろと支出があるため、こういう提案になったのだろう。

【高橋委員】

地域の方々が高齢化して少なくなったので、また大運動会にしたいという話だと思う。

参加するのにお金は要るのか。

【川住副会長】

お金は要らない。

何十年も前から地域との大運動会をしてきている。今始めたわけではなく、昔から。

【石野委員】

町内単位の競技である。黒田小学校区の11町内と先生方の12チームで行う。昔は町内対抗リレーをしていたが、今は先ほどの2種目しか残っていない。

【高宮会長】

整理No.10「金谷区飯支部の交通安全確保事業」について、意見を求める。

【山口委員】

カーブミラーの件で前回の協議会でも相当論議になったと思うが、停止線もいかなものか。カーブミラーは安全性・地域性があり、広範囲に皆さんが利用するものだからと提案があったが、不採択になった。これもそれを考えれば、いかなものか。

【村田副会長】

カーブミラーについては2回提案があり、1回は採択され、2回目は採択されなかったと聞いた。2回目は「適合しない」が過半数だったのか、あるいは点数が低かったのか、教えていただきたい。

【山口委員】

評価点ですかね。

【高橋委員】

2回目は、交通安全活動をするためにミラーを建てるのでは何もつながらないのではないかということで、駄目になった。交通安全活動とミラーとは全く関係ない。

【村田副会長】

次年度以降、カーブミラーや停止線を新設する事業は適合しないと、金谷区地域協議会で委員の総意として決めれば、私たち委員はそのようにしたいが、ひとりひとりの見解で、ということなのか。その辺の見解を決めた方がよいと考える。

【石野委員】

前回、カーブミラーが不採択になったという件は、ルールが変わったということで点数はその前年と同じような点数だったが、結局落ちたということである。

活動については、そのときの委員の考え方があるが、私はカーブミラーや停止線はLEDと一緒にだと思っている。LEDは夜になれば電気がついて活動してくれる。カーブミラーや白線も、それ自身が危険だと周知してくれる。であれば、活動の一環にもなる。

ただ、何でも線を引けばよいものでもないし、線がいいのかどうかということもある。設置場所は、袋小路の中のT字路が非常に多い。現地を見ていないので、危険度合が分からない。

【竹内委員】

市民安全課や、警察に行っても引いてもらえないと。それでいてまた町場の狭い道路で事故があるので、地域活動支援事業に提案したと聞いた。

ものを作ることが本当に活動なのと言われると、なかなか難しいのだが、皆さんの判断でよい。「これが決まりだ」というのは、その都度変わるのではないか。

【高橋委員】

その時も決めていない。

【村田副会長】

では、ひとりひとりの委員の識別と判断で。カーブミラーでいろいろと激論があったとのことだが、それはその時のこととして、今回はそれぞれの委員の判別でいいと。

【高橋委員】

その時も決めていないし、今回も決めなくてよい。

【村田副会長】

分かった。

【高宮会長】

整理No.1 1 「金谷北地区農村元気会拠点化のための土地埋め立て・出店事業」について、意見を求める。

【石野委員】

この事業名称から、埋め立て目的という部分が非常に濃い。既に正善寺工房、信金、上越妙高駅等に出店して、そこだけでは足りないということでの拠点化なのか。拠点化といっても、中身を見るとテントを一つ借上げとなっている。

どの年代の方がこの地区におられるのか分からないが、それだけの出店料が見込めるのかということと、若い人がどんどん入ってくるのか。これだけの費用をかけるのか、分からない。埋め立て自体を違う場所でやったらどうか。

地図を見る限り市道沿いだが、場所がよく分からない。正善寺の奥の県道沿いか。

【高橋委員】

その角である。毘沙門堂の方面へ入る。

【石野委員】

農産物の出店としたら、スーパーとタイアップするなど、もっと違う手段がある。実際に灰塚地区の生産組合などはスーパーで販売している。

【高橋委員】

山道のことまで書いてあるが、結局は生産者の組合で作った野菜を売りたいと。

この雪国の中では細々としかできない。頸城区のように大きいハウスがいっぱいあるなら冬期間でも出荷できるが、半年間も野菜をつくれな。昭和町の信金の前で、朝市でほんの少し出している程度である。

代替する場所は、隣の集落の正善寺工房がある。そこで物を売った方がよっぽど売れると思う。建物も建てたいと提案されたのでは、えらいことになってしまう。

金谷北地区農村元気会では、食材を集める能力もないし、生産能力もないと思う。これは金谷地区全体がそうである。灰塚でも、一時的にスーパーに場所を借りて出したが、今は止まっているだろう。

【石野委員】

夏場の野菜は出しているが、冬用はない。

【高橋委員】

だから、小遣い稼ぎにはいいかもしれないが。

飯から正善寺の人は、商売がとても上手である。朝市に行って、ものすごく売っている。黒田や灰塚は、市へ行かないだろう。それでも、出荷量はない。

【高宮会長】

次にNo.1 2「上正善寺地区エネルギー自給型竹林整備事業」について、意見を求める。

【村田副会長】

NPOやNGOに支援する必要はないと、個人的に判断した。炭を作って売るという事業自体が違うのではないか。

審査で450万円を削減しなくてはいけない。点数で削減するのか、適合する、しないで削減するのか、二者択一になるだろう。基本審査で不採択とすることがいいのか、悪いのか。非常に辛いところである。

過去に金谷区はNPOやNGOで採択したことがあるのか、教えていただきたい。

【川住副会長】

中ノ俣にNPOがあり、冊子作製などにお金を出した経緯はある。

【山口委員】

お茶のみ場もNPO。

【川住副会長】

中ノ俣に優秀なNPOがあり、毎年提案があったという経過がある。このNGOについてはよくわからない。

【高橋委員】

小型炭焼き釜は、この小さいソーラーシステムでは使えないのではないかと。例えば風呂を沸かすのには、200万円のものが必要になる。これは別のものなのではないか。小型炭釜の見積もりはあるか。

【石野委員】

ソーラーシステムは、充電式草刈り機のために発電するのみと書いてある。炭焼き釜は簡単にできるということに意味があるのだろうが、竹炭はドラム缶を工夫すればできる。

事業の目的の中に、地域の課題が何もない。ただ、炭にします、動力をソーラーにします、ということで、地域課題の解決策が載っておらず、NPOやNGOといったこと以前の話だと思う。

最終的には販売が目的になるのだろうが、備品を買った後、転売などができてしまう。まずいのではないかと。

【高橋委員】

事業の名称は「上正善寺地区エネルギー自給型竹林整備」。ものすごい事業である。上正善寺で竹炭を焼いて、それを各家庭で使ってエネルギーに使うのか。よく分からない。

【竹内委員】

私もよく分からなかったなので、上正善寺の町内会長に聞いた。以前住んでいた方から土地と家を買って、その家に住んでいるそうである。なので、まだ地域と親しく何かをする状況ではない。会長は、事業の内容は団体の代表者から話を聞いたとの

ことであるが、内容そのものがまだ論議不足かなと。

そして、電気設備を会員に転々と回す可能性もあるので、このような機械を与えるのは、金谷地区のためになるとは考えられないので、論外かなと考える。

【伊崎委員】

私はこの方を知っている。ワークショップ、子どもたちとの地域交流というところは、いいなと思った。実際に上正善寺に住んでいる。そういったワークショップをこれから年4回されるという話もあった。結構子どもたち向けのイベントを開催されている方。

そういった高額なものを購入という部分は、皆さんの意見に賛成。

【牛木委員】

炭で足の痛いところをなでると治るという話が紹介されたことから、数年前に正善寺で昔風の窯を作ったのだが、一年で終わったと思う。一株やってみたのだが、成功しなかった。

【竹内委員】

上正善寺の町内会長からは、元は寺町の方との話を聞いた。

【高宮会長】

整理No.1 3「金谷地区児童のスポーツ振興及び子どもの健全育成を図る事業」について、意見を求める。

【石野委員】

黒田小学校と大和小学校の子どもが入っていたと思う。活動は黒田小学校の体育館でしていて、歴史がある。

先ほどの南スナイパーズと同じような感覚で審査しないといけない。

ビブスというのは、上に羽織るゼッケンか。ボールハイやスコアブックが合算されているので、金額がよく分からない。必要なものなのか。

【竹内委員】

こういうスポーツサークル的な団体は各小学校区に1つや2つ必ずあるので、ある程度整理していかないと、次から次へと出てくる可能性が。応援してあげたくなるが、1つ取り上げると、3つの小学校全てにあるので、なかなか難しいなど。

【高宮会長】

各地区にいろいろあると思う。ルールを作るかどうかという問題もあるだろうが、当日にまたお聞きしてほしい。

【佐藤センター長】

活動に関する位置図は、追加資料で出していただくか。

【高宮会長】

委員に意見を求める。

【石野委員】

A 4 版 1 枚程度でいいので、あった方がよい。

【高宮会長】

皆さんどうか。

(あった方がよいとの声多数)

【佐藤センター長】

整理No. 1 の事業だけでよいか。

【高宮会長】

整理No. 1、No. 6、No. 1 2 の 3 件とすることを諮り、委員全員の了承を得る。

続いて、基本審査と優先採択審査に入る。正副会長は審査に加わるため、事務局から会の進行をお願いする。

【佐藤センター長】

基本審査を委員に依頼。

— 基本審査シート 記入・回収・集計 —

【佐藤センター長】

基本審査の結果を報告。

・「適合しない」が過半数：整理No. 2、1 1、1 2

・「適合する」が過半数：整理No. 1、3、4、5、6、7、8、9、1 0、1 3

優先採択審査を委員に依頼。

— 優先採択審査シート 記入・回収・集計 —

【佐藤センター長】

優先採択審査の結果を報告。

- ・「該当しない」が過半数：整理No.7
- ・「該当する」が過半数：整理No.1、3、4、5、6、8、9、10、13

高宮会長に進行をお願いする。

【高宮会長】

ただいまの報告のとおり、基本審査で不採択でとなる事業は、整理No.2、11、12、優先採択審査で「その他の事業」となる事業は、整理No.7でよいか諮り、委員全員の了承を得る。

一次第3議題(2)自主的審議事項「金谷区小学校区（特に黒田小学校区）における地域連携施設の設置」について—

【高宮会長】

次第3議題(2)自主的審議事項「金谷区小学校区（特に黒田小学校区）における地域連携施設の設置」については、本日は審議時間がないことから、6月の地域協議会に延期することを諮り、委員全員の了承を得る。

一次第4 事務連絡—

【高宮会長】

次に、次第4「事務連絡」について、事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

- ・今後の日程

第3回地域協議会：5月24日（水）午後3時 福祉交流プラザ

（地域活動支援事業共通審査と採択事業補助額の検討、決定）

第4回地域協議会：6月28日（水）午後6時 福祉交流プラザ

- ・当日配布資料

頸北斎場のあり方に関する意見書（吉川区）

頸北斎場の存在意義に関する意見書（柿崎区）

【高宮会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課

南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831（直通）

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。